

山梨県立大学国際政策学部

第6回山梨政策フォーラム

太陽光発電との 共存は可能か？

このシンポジウムでは、山梨県をはじめ全国各地において地域共通課題となっている太陽光発電の事業化に伴うまちづくりへの影響について議論する。安曇野市がまちづくりの最前線から経験した情報を共有し、反対運動による一過性の解決だけではなく、まちづくりとの共存可能性について、住民・議会・行政の視点から検討し、その持続可能性な政策形成を発信する機会とする。

共催・山梨県立大学国際政策学部、地域研究交流センター

・2022年10月15日（土）、14時～17時

・長野県安曇野市「地球宿」より Zoom 同時配信（参加無料・要申込）

■プログラム

1230-1330、黒沢洞合自然公園隣地見学

1400-1410、開催挨拶

1410-1430、報告1・・・住民の視点

1430-1450、報告2・・・議員の視点

1450-1500、コメント及び論点整理1

1500-1510、コメント及び論点整理2

1510-1520、コーヒーブレイク

1520-1630、パネルディスカッション

1630-1650、質疑応答

1650-1700、参加者の一言

パネルディスカッション

ソーラーパネル問題が試す 自治体の政策形成力

・パネリスト、大浜 崇（黒沢洞合の里山を未来の子供たちに残す会代表）

・パネリスト、増田 望三郎（安曇野市議会議員）

・コメンテーター、伊藤 智基（山梨県立大学・准教授）

・コーディネーター、申 龍徹（山梨県立大学・教授）

申し込み・申研究室 shin@yamanashi-ken.ac.jp

-山梨県立大学-